

人権・平和・環境
あしだがわ

発行
 南部生涯学習センター(沼隈支所3階)
 福山市沼隈町草深 1889 番地 6
 TEL980-7713
 FAX987-2382



E-mail: nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp
 福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「あしだがわ」で検索！

あなたの「よし！」を未来に編み込むゼミナール 歴史講座

略称“あみゼミ”
第1弾

報告 朝鮮通信使と鞆の浦
 ～通信使は何を見、何を残したのか～

2月27日、「朝鮮通信使と鞆の浦—通信使は何を見、何を残したのか」の講座を行いました。戸田和吉さん(鞆の浦歴史民俗資料館友の会 会長)を講師にお招きし、福山と朝鮮通信使の関わりについてお話いただきました。

国書を携えて日本を訪れた外交使節である通信使と鞆の浦のつながりは、高官三使の宿泊施設であった対潮楼が有名です。そこから見た鞆の浦、仙酔島の景色は、彼らの故郷の形勝地である「洞庭湖、岳陽楼に見劣りしない」と感嘆させ「日東第一形勝」の墨書を残しました。その感動は日記や、詩にもしたためられました。

この優れた文化に学びを求めたのは、当時の福山藩や、菅茶山をはじめとする福山の学識者たちでした。彼らは、墨書の風化を案じて木額、版木を制作し、その交流の歴史を後世に残してくれました。

通信使が残してくれた、文化遺産と、誠心の交わりを大切にしたい外交姿勢を、現代を生きる私たちも学び、さらに地域へと広げていきたいと感じた歴史ゼミナールでした。



報告

あなたの「よし!」を未来に編み込むゼミナール
高齢化社会を、どう生きようか

略称
「あみゼミ」
第2弾

第1講座 映画上映会

はじまりは ヒップホップ



← 上映を待つ参加者



はじまりはヒップホップ



©2014 Rise And Shine World Sales /
Inkubator Limited / photo_Ida Larsson

3月7日に、福山市ぬまくま交流館（市民ギャラリー）で映画上映会「はじまりはヒップホップ」を行いました。

この映画上映会は、高齢者の社会参加をテーマにしています。地域の公民館でダンスを楽しむ平均年齢83歳の仲間たちが、若者の文化とされるヒップホップダンスを習い、ラスベガスでの大会をめざします。

仲間の一人ひとりには、それぞれの人生がありました。苦勞しながら子育てをした人、今は認知症となった夫に寄り添ってきた人、輝かしい青春時代を生き、今なお活躍を夢見る人…。映画の中の彼ら、彼女らはみんな「新しいことに対する挑戦するのは楽しい」という気持ちを持っていました。

参加して映画をみた方が、少しでも何かに挑戦してみようかな、と思えるきっかけになればと思いました。

第2講座 介護の豆知識

介護する人、される人

～ともに笑顔でくらす秘訣～



3月14日、福山市ぬまくま交流館（研修室）で「介護する人、される人～ともに笑顔でくらす秘訣～」をテーマに講義を行いました。山本 貴子さん（西南部地域包括支援センター）、村上 明友巳さん（同サブセンター沼隈）、堀 香菜さん（同サブセンター山南）の3人を講師にお招きし、介護保険についてのお話や介護予防の簡単な運動などを教えていただきました。

地域包括支援センターは高齢者の生活にかかわる総合的な支援の相談機関です。高齢・加齢による心身の悩みや、認知症初期症状の方への支援、地域ぐるみでの支援体制のお手伝い、介護予防などの出前講座など、さまざまな対応をされています。



介護保険の目的や基本的な考え方の説明の後には、申請に至るまでを寸劇仕立てで分かりやすく説明していただきました。

さらに今起きていることと、これからについて教えていただきました。約30年後には1.2人で一人の高齢者を支える超高齢社会になることから、健康寿命を延ばすことが大切です。そのために栄養、身体、社会参加の3つのバランスを心がけましょう。社会との関わりに、これからの高齢化社会を生きる秘訣を見つけました。

知っていますか？

福山市こころをつなぐ 手話言語条例

福山市こころをつなぐ手話言語条例って何？！

「障害者差別解消法」が2016年(平成28年)4月に施行され、障がいのある人に対する「不当な差別的取り扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」が求められています。

このような中、福山市では、2017年(平成29年)12月20日に県内で初めての手話言語条例「福山市こころをつなぐ手話言語条例」が制定されました。この条例は、手話が言語であるとの認識に基づき、戦後復興からのばらのまちづくりを通じて引き継がれてきたローズマインド(思いやり・優しさ・助け合いの心)をもって、手話への理解を深めて地域で支え合うことにより、手話を使って安心して暮らすことができる、誰もが共生することができる地域社会の実現をめざしています。

これに伴い今年1月9日から市民が訪れるすべての窓口へ聴覚に障がいのある人が来庁したときに、安心して窓口を利用できるように「筆談マーク」や「手話マーク」を掲示しています。

プラスα

条例制定までには、市内の聴覚障がい者の方の長年の要望があったことをご存知ですか。

過去には、手話を否定されたり、聞こえない子どもが通う「ろう学校」でも手話を使うことが禁止されたりしてきた時代がありました。

手話の代わりに会話の手段として使われていたのが、口の動きを読む口話法でした。これには限界があり、日本語の習得も十分にできず、手話も禁止されていたので、自分らしくあること(アイデンティティー)の喪失にもつながっていきました。こうしたことから、言語手段をろう者が健常者に合わせるのではなく、健常者が理解する社会をめざした取組が始まったのが、約10年前です。

聞こえる人たちが日本語の音声言語で学び、様々な情報を得て暮らしているように、ろう者は手話で学び、生活のあらゆる場面で手話を使って暮らせる社会を目指して条例制定のために多くの人々が活動をしてきたのです。

福山市生涯学習活動費補助金申請団体の募集

この補助金は、市内で活動している学習グループが、自主的に企画・実施する学習活動の経費の一部を補助することにより、広く生涯学習活動の活性化を図るものです。

構成員数	5人以上の学習グループ
補助金額	1つの学習活動につき、補助対象経費の2分の1以内で上限5万円
対象事業	子育て支援や福祉活動、ボランティア、創作活動等をテーマに、地域に開かれた活動
申請期間	3月1日(木)～4月4日(水)

【問合せ先】 福山市役所まちづくり推進部 人権・生涯学習課
TEL(084)928-1243 FAX(084)928-1229



【防災力アップサークル】
地域防災マップの作成



【走島ユニカルサークル】
島民の交流促進、健康づくり事業

「親の力」をまなびあう学習プログラム
子育てサポーターリーダー(ファシリテーター)

養成講座

参加者募集
参加費無料
4月2日(月)~受付開始!!
先着25名

5回連続講座

5月 31日(木)
6月 7日(木)
6月 14日(木)
6月 21日(木)
6月 28日(木)

時間 13:30~16:00

場所 東部市民センター2階21会議室・集会室
(福山市伊勢丘六丁目6番1号)



子育て支援に興味がある方 募集!!
地域で活動をしたい方



「親の力」をまなびあう学習プログラム
(通称:親プロ)って??

子育てについて、参加者同士が話し合いを通して、親としてのさまざまな悩みを共有し、知恵を出し合って学び合う参加型のプログラムです。子どもの対象年齢に応じたプログラム、地域の大人や親としての役割を考えるプログラムなどが用意されています。

地域で子育てを支援するサポーター(ファシリテーター)を養成する講座です。広島県教育委員会が作成した『「親の力」をまなびあう学習プログラム』を使用して、講座の進行役になるためのスキルを学びます。養成講座は、講義とワークショップ形式です。受講後は修了証を交付します。

申込・問合せ先
福山市人権・生涯学習課 (084)928-1243